７　様式集　※各様式は、都市整備局ＨＰからダウンロードできます

みどりの計画書指導における相談概要書

年　月　日

計画名

活用制度

所在地

事業者名

設計者名

敷地面積　㎡　　**空地面積**　㎡

建築物

高さ　m　　**階数**

建築面積　㎡　　**延べ床面積**　㎡

用途

戸数等

スケジュール

協議完了予定

制度（提案・許可）申請予定

建築確認申請予定

着工予定　　**完成予定**

既存緑化面積　㎡

計画緑化面積　㎡

内訳　地上　㎡

屋上　㎡

上記記載の上、初回打合せ時に御提出ください（記入日時点で未定・不明の項目は空欄で結構です。）。

〇みどりの計画書の記入時の留意事項について

※記入に当たっては、赤字部分について、特に留意してください。

みどりの計画書

公開空地等のみどりづくり指針の規定により、下記のとおりみどりの計画書を提出致します。

みどりの計画書の提出日

年　　月　　日

東京都都市整備局
都市づくり政策部
緑地景観課長　　殿

[代理人]　設計事務所等本計画書の協議内容の分かる担当者を記入・押印

住所
電話
氏名　　印
（法人にあっては、所在地、名称及び代表者）
担当者

[事業者]

住所
電話
氏名　　印
（法人にあっては、所在地、名称及び代表者）

記

【計画名称】　企画提案書や総合設計許可申請書等の件名を記入してください。

1　計画地案内図
2　計画概要書
3　歩行者動線計画図
4　周辺状況図
5　上位計画のまとめ
6　みどりのネットワーク図
7　みどり空間の配置計画図
8　将来予想図

} 別紙

	受付	協議完了確認
処理欄		

押印したものを『3部』御提出ください。

※そのうち１部（事業者返却分）はコピーでも可能です。

（注）この書式は企画提案書の見直し等に伴い、みどりの計画書の変更を行う際にお使いください。

みどりの計画書（変更）

公開空地等のみどりづくり指針の規定により、下記のとおりみどりの計画書（変更）を提出致します。

年　　月　　日

東京都都市整備局
都市づくり政策部
緑地景観課長　　殿

[代理人]　設計事務所等本計画書の協議内容の分かる担当者を記入・押印
住所
電話
氏名　　印
（法人にあっては、所在地、名称及び代表者）
担当者

[事業者]
住所
電話
氏名　　印
（法人にあっては、所在地、名称及び代表者）

記

【計画名称】　前回提出した計画書の件名を記入してください。

←変更がある項目に〇を付ける。

1　計画地案内図
(2)　計画概要書
3　歩行者動線計画図
4　周辺状況図
5　上位計画のまとめ
6　みどりのネットワーク図
(7)　みどり空間の配置計画図
(8)　将来予想図

別紙

↓前回提出した計画書の協議完了年月日及び番号を記入

※　　年　月　日協議完了の「みどりの計画書」（　　）の見直しを行ったもの

	受付	協議完了確認
処理欄		

押印したものを『3部』御提出ください。
※そのうち１部（事業者返却分）はコピーでも可能です。

（注）この書式は企画提案書の軽微な見直し等に伴い、みどりの計画書の軽微な変更を行う際にお使いください。

みどりの計画書（軽微変更）

年　　月　　日

東京都都市整備局
都市づくり政策部
緑地景観課長　　殿

[事業者]
住所
電話
氏名
（法人にあっては、所在地、名称及び代表者）

いずれも押印は不要

[代理人]
住所
電話
氏名
（法人にあっては、所在地、名称及び代表者）
担当者

【計画名称】　前回提出した計画書の件名を記入してください。

↓前回提出した計画書の協議完了年月日及び番号を記入

○年○月○日に協議完了した「みどりの計画書」（○－○番）につきまして、別紙のとおり変更が生じましたので、ご報告いたします。

	受付
処理欄	

『3部』 御提出ください。

※そのうち１部は副本（事業者返却分）です。

（注）この書式はみどりの計画書の変更又は軽微な変更を行う際にお使いください。

【変更概要書】

変更項目	変更内容	変更理由

コラム：「緑の効果的な配置による暑熱環境の改善」

緑には様々な機能がありますが、その一つが、都市のヒートアイランド現象に伴う暑熱環境を改善する機能です。

ヒートアイランド現象は、都市化により人工排熱が増え、また、アスファルトなど蓄熱しやすい土地被覆が増えることで、郊外に比べて都市部の気温が高くなる現象です。ヒートアイランド現象の影響により、東京では熱帯夜日数や猛暑日が著しく増加しており、熱中症患者数も増加傾向にあります。

緑による暑熱改善の効果の例を挙げますと、木陰をつくることで、その下に居る人の熱ストレスが減りますし、アスファルトなどへの蓄熱が少なくなります。

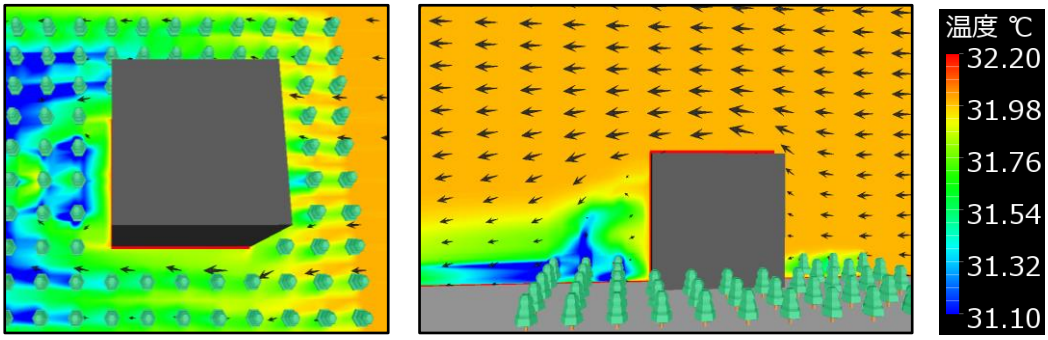
また、根から吸い上げた水分を葉から蒸散させることによって周囲の気温が下がります。

東京都では、平成 28 年度から、公益財団法人東京都環境公社東京都環境科学研究所及び国立大学法人筑波大学計算科学研究センターと研究協力協定を結び、緑地による暑熱改善効果を評価してきました。

その中で、高層建築物近傍の暑熱環境を改善するためには、どのように緑と建物とを配置するのが効果的であるのか、日射・輻射計算可能な熱流体モデルを用いて、数値シミュレーションを行うことにより検証しました。

その結果の一つとして、建物の風下側は風が弱くなることで緑が作り出す冷涼な空気が流されにくくなり、その場所に気温の低いクールスポットが形成されやすいことが示されました。

ヒートアイランド現象や緑の効果については様々な研究が行われていますが、最新の研究結果を公開空地のみどりづくりにも生かし、より快適な都市環境の創出を目指していきます。



シミュレーション事例．夏季晴天日 14 時における地上 2m 高さの気温と風（左）及び気温と風の鉛直断面（右）．（気象条件：気温 32℃，地上 10m 高さの卓越風速 4m/s．）